

「寛容」概念の再検討

青山学院大学大学院 総合文化政策学研究所 一寸木英多良

1. 目的：

- (1) 「寛容 (tolerance)」に関する実証的研究については、発表者の知る限り、1950年代から「政治的寛容 (political tolerance)」という概念を使った研究が行われてきた。
- (2) 新たな展開として、2000年代に入ってから、「社会的寛容 (social tolerance)」という概念を使った実証的研究が行われるようになってきた。
- (3) ここで、これらの2つの概念を再検討することで、「寛容」概念の明確化 (Merton 1949) をはっきりしたい。
- (4) こうした概念の明確化により、次に、これらの概念をとらえる質問項目の再検討につなげたい。

2. 方法：

- (1) 政治学、社会学の領域の学術誌 12 誌に掲載された先行研究における「政治的寛容」「社会的寛容」の定義を確認 (①)。
- (2) これらの定義に様々な動詞が使われていることに着目し、今回は、これらの動詞の意味内容から「寛容」概念の再検討を行う。
- (3) 「ジーニアス英和大辞典」(2001) で各動詞がもつ様々な意味を確認 (②)。次に「オックスフォード英単語由来大辞典」(2015) で各動詞の由来を確認 (③)。これらを基に2つの「寛容」概念の再検討を行う (④)。

3. 結果：

| | 政治的寛容 |
|---------|--|
| support | ① any expression of <u>support</u> for concrete use of civil liberties(Bobo et al. 1989) ② 「支持する」の他、「我慢する」「耐える」 ③ ラテン語の supportare (下から+運ぶ) ④ 自分を抑え、自分の意思を表に出さない |
| permit | ① a willingness to <u>permit</u> the expression of ideas or interests one opposes (Peffley et al. 2003) ② 「許す」の他、「～を可能にする」 ③ ラテン語の permittere 「委ねる、引き渡す」 ④ 他者に干渉しない |
| extend | ① the willingness to <u>extend</u> rights to objectionable groups (Sullivan et al. 1981) ② 「～を施す」の他、「広げる、拡張する」 ③ ラテン語の extendere 「外に+伸ばす」 ④ 基準 (法) の解釈可能な範囲まで許容する |
| allow | ① the willingness to <u>allow</u> the expression of divergent ideas (Wilson 1991) ② 「許す」の他、「配分する」 ③ ラテン語の allocare (割り当てる) ④ 有限の公のリソースを配分する |
| apply | ① willingness to <u>apply</u> universalistic norms of treatment and rights towards people…(Moore et al. 2006) ② 「適用する」の他、「当てる」「接触させる」 ③ ラテン語の applicare 「折り重ねる、結びつける」 ④ 広く共有可能なもので結び付ける |

| | 社会的寛容 |
|-----------|--|
| accept | ① willingness to <u>accept</u> disliked others into their everyday life (Lee 2014) ② 「受け入れる」の他、 ・「(人を) 快く思う」 ・「(グループなどに) 迎え入れる」 ・「(人が) (～であることを) 信じる」 ・「(喜んで) 遇する」 ③ ラテン語の acceptare (受け取る) ④ ・自分の意思を表に出す ・自ら引き受ける ・自分自身の基準 (良心) にしたがって対処する ・自らのリソースを自発的に提供する |
| recognize | ① <u>full recognition</u> and acceptance of the identity and uniqueness of differences (Persell et al. 2001) ② 「認める」の他、「人に覚えがある」 ③ 18世紀初頭から「識別する、見分ける」の意味で使われる ④ それぞれの個別の事情に寄り添う |